

泉ヶ丘の新たな風

泉ヶ丘
園新聞

宮崎県立
都城泉ヶ丘
高等学校
新 聞 部
発 行

制服改革

生徒会が主導となって行われている制服改正。全校生徒や先生方の尽力もあり、方針が決まりつつある。そんな制服改正について生徒会長である牧誠一郎さんに話を伺った。

牧さんによると今回の制服改正は、校則改正と同時に並行で進めているようだ。ネクタイやリボンなどの意見は生徒会内で出され、実際に生徒会や代表の生徒が

ネクタイやリボンを一週間着用した。生徒会役員の大山祥さんは、ネクタイを着用して「泉ヶ丘での初めての試みだったことに加え、多くの人の興味を引くイ

もネクタイ、リボンともに個人個人で色の好みはあったものの好評だったため、やりがい十分にあつたと言った。



▲新たな制服を着用する生徒会役員

ベントだったため、この試みに期待する反面、皆の反応が不安でもあった」と語った。しかし、結果として他クラスなどで

着用していない生徒に話を聞いたところ、制服にワンピースとネクタイやリボンを早く取り入れたという肯定的な意見があつたが、今の制服の状態でも良いという意見に分かれた。また、男子生徒からは、ネクタイがきついという声や学ランを着用するため、ネクタイが見えないので微妙ではないかという声が教師からも上がっているようだ。これに対して牧さんは「ネクタイは学ランを着用しない時期に着ける形だ。」と話した。また、大山さんも「ネクタイやリボンに合わせた格好にする必要があると感じる」と話した。

牧さんは制服改正に協力してくれた生徒に対して「沢山の意見をいただき本当に感謝しています。四月に発注してレブリカを作ること考えると時間がかかるため、来年までに変えられるかは分かりませんが、頑張ります」と語った。

修学旅行

制服改正は三月に行われる生徒総会で決定される予定だ。生徒一人ひとりが積極的に意見を出していくことが、生徒の意見に寄り添った、制服改正への近道となるだろう。

(筒井・大重・中村)

修学旅行風景



を参拝した。外国人観光客なども多く、おみくじや、食べ歩きを楽しむ生徒が多かった。また、東京ディズニーシーに来園し、パレードやアトラクションを楽しんだ。最終日は、東京ベイ舞浜ホテルを出発し、自主研修が行われた。事前に決めた場所に行き、買い物や、食べ歩き、観光などをして、一日を満喫した。

4泊5日間の修学旅行でした経験忘れず、今後活かしていきたい。(元明)

今年も卒業のシーズンがやってきた。3月1日、本校では第76回卒業式が行われる。いよいよ、これまで本校を引っ張ってきてくれた3年生の先輩方が旅立つ。たった3年間ではあるが、先輩方が青春という濃い時間を過ごした本校は、きっと「母校」として、先輩方の中に思い出深く残っていくだろう。▼本校はこれまで何年もの間、多くの卒業生を送り出している。学生の頃の思い出は、何年経っても色褪せず心に残るものであるという。「母校」は、それらをより一層鮮明に呼び起こしてくる存在に違いがない。そんな多くの人の心に残る泉ヶ丘という「母校」を、私たちはこれからも大切に受け継いでいきたいと思う。▼「歳月は人を待たず」あつという間に卒業の季節となつてしまった。先輩方との別れははたらく寂しいものだが、先輩方の新しい門出を心から祝いたい。(丸田)

